

PTAって、どんなもの？

PTAは、英語の **Parent(親) - Teacher(教師) - Association(組織)**の頭文字をとったものです。名前の通り保護者と教職員で自主的に構成され、両者が対等の立場で活動する団体です。青少年団体など社会教育関係団体のひとつとして位置づけられていて、その中でも最も多くの会員をもつ団体です。

また、PTAには、**学校の教育活動を理解し、教育に関わる活動に取り組むことで、家庭・地域・学校を結ぶ役割も期待されています。**

活動の目的は、**子どもの健やかな成長を図ること**です。

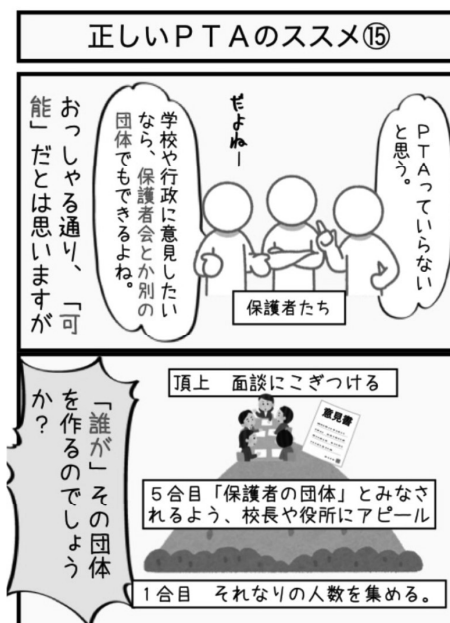
【PTAの歴史】

19世紀末、アメリカの運動から始まりました。

創始者であるアリス・バーニーさんの「尊い命を守り無力な幼児を健やかに育て、望ましい環境に迎え入れよう。」という訴えは、多くの母親たちの共感呼び、運動の輪が広がっていきました。

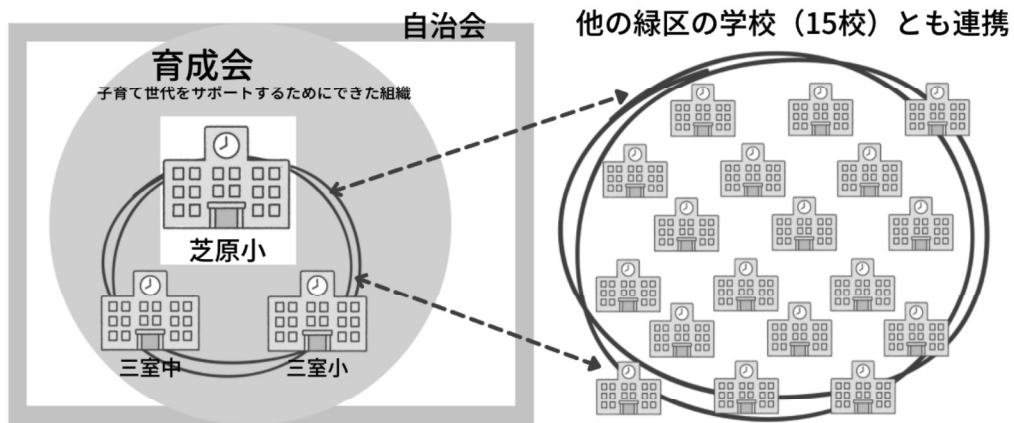
その後、この運動に父親と教師が参加し、「父母と教師が対等の立場で、子どもの教育について共に語り合う」活動として世界各地に広まりました。

(2コマでPTAを叫ぶ母 Twitterより抜粋)



芝原小学校の場合

芝原小の PTA は単独で存在しているのではなく、近隣の学校や育成会、自治会などと連携して、子どもたちの健やかな成長と安全を見守っています。

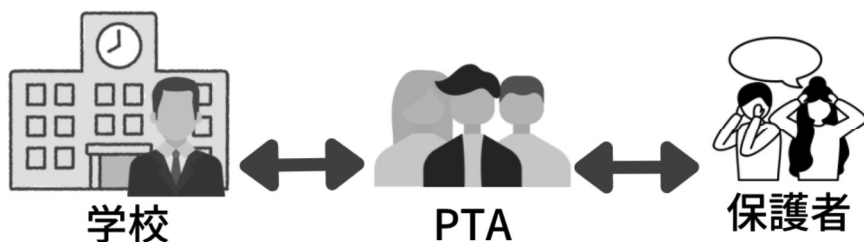


日常生活ではあまり感じないかもしれませんが、芝原小の PTA 活動は地域の方々とのつながり無くしては存在し得ません。

子どもたちが楽しみにしているふれあい祭りやみむろっこ祭り、夏休みの映画会などは、三室小、三室中、育成会との連携で開催しております。育成会とは、子育ての終わった祖父母世代の方々が、「子育て世帯をサポートして、この地域での子育てが楽になるように」という主旨で作られました。その育成会と学校とのパイプ役は、PTA 本部役員が担っています。我が子の安心な生活や、楽しみにしているイベントなどの裏側に、必ず関わってくるものが、PTA と言えるのです。

また、学校内でも、保護者の方々と学校との連絡役、相談役などを担っています。

先生に直接言いにくいことを、PTAが相談窓口として受け付けることも可能



PTA活動に参加すると・・・(注:役員だけが PTA 活動ではありません)

学校での子どもの様子がよく分かるようになります

- ・家庭とは違った学校生活の様子を知ることができます。
- ・家庭での子どもとの会話が増えるきっかけになります。
- ・学校だよりや学年だより等では分からない、子どもたちや学校の様子を
実際に見たり肌で感じたりすることができます。

自分の子どもだけではなく、他の子どもたちとも交流することができます

- ・他の子どもと顔なじみになり、他の子どものよさが見えると共に自分の子どもの
よさも見えるようになります。
- ・学校全体の視点から、すべての子どもたちの成長を考えることができるよう
になります。

保護者同士のつながりができます

- ・子育てについて共に話し合い、相談しやすくなります。
- ・異学年や他校の保護者とも交流し、情報交換をすることができます。
また、新たな保護者同士のつながりを得ることができます。

教職員との会話の機会が増えます

- ・学校や先生方を身近に感じることができます。
- ・学校の様子や雰囲気について先生から話を聞く機会が増えます。
- ・学校生活における心配事や悩み事等を相談しやすくなります。

地域とのつながりができます

- ・子育てについて地域の方に相談しやすくなります。

PTA は、学校生活のなかで大事な役目を担っています

ここまでお読みいただき、ありがとうございました。PTA は、なかなか全体像のわかりにくい団体かもしれませんが、子どもたちの学校生活の中で重要な役割を担っています。本部役員にならなくても、クラス委員や係、ボランティア活動などで PTA に関わる方法はたくさんあります。もしくは、「役員はどうしてもできない・・・」という方には「役員免除申請」という制度もあります。ぜひお子さんの学校生活が充実したものになるよう、PTA へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。